

CCH キャンパス・コンソーシアム函館

はこだて高等教育機関

合同研究発表会



HAKODATE
アカデミック
リンク2018



【加盟校等】
公立はこだて未来大学
函館大谷短期大学
函館工業高等専門学校
函館大学
函館短期大学
北海道教育大学函館校
北海道大学大学院水産科学研究院・水産学部
ロシア極東連邦総合大学函館校
函館商工会議所
函館市



2018.11.10.sat 12:00-16:00

@函館アリーナ武道館 (函館市湯川町1丁目32番2号)



HAKODATE アカデミックリンクとは？

函館市内8高等教育機関の学生が一堂に会し、
普段研究している内容や成果などを
ポスター展示や実演などによって発表し合う合同研究発表会です。
会場では、学生とのコミュニケーションも楽しめます。
最先端の研究や地域課題へのアプローチなど、
函館の学生たちの取り組みをぜひ見に来てください。

街が僕らのアカデミア

函館市内にある8つの大学・短大・高専では、
学生・教員らが持つ「体験」「発想」「探究心」から生まれる
様々な研究がそれぞれのキャンパスで進行中です。
これらの一端を市民の皆様方・地元企業の皆様方に
わかりやすくご披露し、各研究テーマの
協力・連携の可能性を探るべく一同に集結します。
ブースやステージでの発表などを通して、
ここ函館を舞台に日々繰り広げられている
研究活動に触れていただければと存じます。
また、中高生の皆さんにも今後の進路決定の参考に、
先輩たちとのコミュニケーションの機会に
していただきたいと思えます。
スタンプリナーなど楽しい企画も満載です。

ステージセッション参加チーム

ステージでの発表 14:00～

10分間の持ち時間で繰り広げられるステージでのプレゼンテーションです。

1 函館大 チーム 商学実習II 藤原クラス

「多様性」こそ成長のカギ 一函館の観光産業を素材に

函館は言わずと知れた観光都市です。しかし、「多様性」という意味では決して優等生とは言えません。私たちは食・住(宿泊)・遊(レジャー)、三つの側面から問題点を見つけ、解決策を提案します。函館を世界で通用する観光都市にし、より一層輝かせるために、私たちが函館の観光のあり方を変えていきます！

チーム代表 高野美沙
チーム員 赤塚歌音・川村奨一郎・黒澤春花・佐藤巧麻・
杉山樺梨・田井中惇生・谷口和希・
西山剛人・松橋妃花・吉田雅哉

2 北大大 チーム F-Tech-1

実はこんなにすごい！！ “スーパーフード”ダルス”

私たちは「未利用紅藻 ダルス の有効活用」を目指して研究を行っています。ダルスはキシランという多糖類を多く含んでおり、キシランから作られるキシロオリゴ糖には様々な効果が期待されています。その中で、オリゴ糖を作るために、多糖を分解する酵素を微生物から探索しています。

チーム代表 栗田大輝
チーム員 無し

3 未来大 チーム ミライケーティブプロジェクト [re:]

ミライ的なサービスの開発 -新しい音楽アプリ-

私たちは数年後当たり前に使われているような未来的なサービスの企画、開発を行っています。ステージセッションではその中の一つの、新しい音楽との出会いを提供する「Battari」というサービスについて発表します。

チーム代表 田中紗江香
チーム員 岩崎賢太・高橋啓太・細川諒

4 函高専 チーム team 冷熱

液化天然ガスの冷熱(-160℃)から 電気をつくろう!!

液化天然ガス(LNG)の温度は-160℃!!とても冷たいので、温水や外気で温めて、せっかくの冷熱を捨てているのを知っていますか?この冷熱で発電して、例えばLED電球を点灯出来たら素敵だと思いませんか?今回は冷熱と外気の温度差で動く発電装置の開発状況をご紹介します。

チーム代表 齊藤星哉
チーム員 濱野志奈・仙次弘樹・奈良主規

5 函短大 チーム スマホしらべ隊

スマホ育児を考える

スマートフォンが発売されて10年。大人のみならず、子どもが使用する姿も見かけることがあります。世間ではスマホ育児を否定する声も聞かれます…。本当に悪いことばかりなのでしょうか?子育てを頑張っているお父さん、お母さんを応援すべく、スマホの使い方について考えてみませんか。

チーム代表 東佳子
チーム員 無し

6 極東大 チーム ピロシキ八幡坂

オリジナルピロシキが出来るまで

みなさんは本当のピロシキをご存知ですか?普段目にするピロシキは、本場ロシアのもととは違うことがあります。そこで私たちはキングベークさんの協力の下、新しいピロシキを制作することにしました。その過程を発表します。

チーム代表 小池凜
チーム員 齋藤航・相川将太・平原響・竹内のぞみ・
和田将英・永谷瑞乃・竹内志織・小池愛輝・
山本陽之・安井燦大・中谷嶺・中敷東

7 函館大 チーム 函館大学アジアマーケティング研修会

函館における宿泊サービス業の 国際化について

これからの函館市の観光戦略において、アジアからの観光客誘客は重要です。私たちは、その嗜好や文化を理解し、おもてなしをしているかについて疑問を感じました。そこで、函館の宿泊サービス業が国際化していくためには、外国人の積極的な雇用が重要であると考え、実際にタイで調査を行いました。本発表は、その調査について報告します。

チーム代表 佐々木陵祐
チーム員 木村乃暉・佐藤日向子・鈴木里彩・
三上めぐみ・濱本佳歩

8 北大大 チーム 化学工学・反応工学チーム

貝殻がディーゼル燃料をつくる触媒に!?

ディーゼル燃料は環境に良い燃料として注目されています。ホタテの貝殻からつくった酸化カルシウムはディーゼル燃料をつくる際、触媒として利用することができます。私たちは、この触媒にどのくらい燃料をつくる能力があるのか研究しています。

チーム代表 古川曉飛
チーム員 無し



ブースセッション参加チーム

パネル展示や実演・解説

パネル展示を前に各種のデモンストレーションや解説などを行います。

1 CCH チーム 大門合同学生祭実行委員会(AL学生会委員)

大門で繋がる学生祭

大門地区を中心に、人と人を繋げるお祭りとして毎年1度大門地区でお祭りを開催しています！学生団体から一般団体までステージ、模擬店で参加を募っています！函館の様々な大学の学生が作り上げていますので、ぜひ足を運んでみてください！

チーム代表 佐藤研
チーム員 岩瀬豪・鶴沼望月・工藤優花・桑村玲華・
澤田万由子・浜長忠良・古川晴香

2 極東大 チーム イワン・ハコダテスキー(函館のイワン)

ВРЕМЯ ВПЕРЕД-時よ、前進！-

長く低迷が続けたロシア産業界にもようやく曙の兆しが…。ロシアの今日における技術のカッティングエッジは果たしてどこにあるか？革新テクノロジー、環境問題、対日政策等の分野から探り解明する。

チーム代表 相川将太
チーム員 萬加源・永谷璃乃・竹内志織・平原響・
中藪東・阪谷智也・竹中英雄・竹内のぞみ・
和田将英・瀬間由美子

3 特別参加 チーム 大学コンソーシアム学都ひろさき 学生委員会いしてまい

つながるMAP～防災編～ 完成発表

東日本大震災から7年一防災への関心も薄れていく一方で、災害は予期せぬもの。県外からの学生も多い弘前市で、さて避難経路を確保できる人はどれだけののでしょうか？今一度災害防止に目を向けてほしい。そんな想いを持った男が作った、一冊のマップをご覧ください。

チーム代表 後藤健太郎
チーム員 佐佐木力・高木雄基・神成笑里・田中早紀

4 北教大 チーム 古地ゼミ3期生

なるうよ江差っ子 一総合戦略から見るまちの未来—

江差町のまち・ひと・しごと創生総合戦略の中身を分析し、戦術の一つである「U・I・Jターン」に着目しました。その中で、江差町が設定する江差町出身者以外であるサブターゲットに焦点を当て、自治体が考えるものとは一味違う、学生ならではの彼らと呼び込むための政策を提案します。

チーム代表 中村百恵
チーム員 喜多村ひなの・小関そよ香・天童佳奈・中村瀬奈・
堀川美琴・松岡潤・村上陽菜・山本夏菜子

5 未来大 チーム 高度ICT演習 はこだてSweets

函館スイーツの魅力を伝えるアプリ「あまはこ」の開発

私達は主に観光客に函館スイーツの魅力を知らせてもらい、実際に食べてもらうことを目的に、モバイルアプリケーション「あまはこ」の開発を行っています。今年度はメンバー数が25名と人数が多いこともあり、実践開発チームと基礎開発チームの2つのチーム分けて活動しています。

チーム代表 外館有希
チーム員 友野真綾・川北紘正・松山航・渡邊峰香・新田野乃華・
伊藤優季・太島陸・工藤海斗・村石拓海・宮越七菜

6 函高专 チーム Maruyama Lab.

廃線レール上走行EVの冰雪影響

電界結合ワイヤレス電力伝送の冰雪影響と融雪応用

チーム代表 大野寿紗
チーム員 小坂・佐藤・山本(愛)・見附・畑山・青山

7 特別参加 チーム 青森公立大学 青森まちなかしかへらあ～s

青森市中心市街地活性化への取組

青森まちなかしかへらあ～sでは、青森市中心市街地での清掃活動やイベントのボランティアを通して、中心市街地活性化に向け尽力しています。今年度も市内大学生を対象とし、中心商店街との連携イベントを企画中です。

チーム代表 福村森世
チーム員 鈴木葵



8 函館大 チーム 商学自習I 藤原クラス

楽しく、かつよく、稼げる農業を実現しよう!

本研究では、日本の農業の実態を明らかにし、北海道の農業の明るい未来を構築していくための方策を提案します。一般に指摘されている農家の高齢化、後継者不足などの問題の裏に隠れている誤解を解き、「域内乗数」「移輸出」「スマート化」をキーワードに解決方法を考えていきます。

チーム代表 門脇良良
チーム員 石郷岡亮・扇柳拓木・小岩亮斗・近藤駿哉・櫻庭洋輝・
佐藤駿大・塩田祐之介・高谷寿稀也・長谷悠平・
福井悠乃・村上日菜子・安田竜巳・横山翔大

9 北大水 チーム 五稜郭の小さな巨人

五稜郭の細菌でアオコを防ぐ！

アオコとは微細藻類の異常増殖により湖水が緑色になり、悪臭や毒化さらには生物の大量死が起きる現象です。五稜郭の水草に付着する細菌にアオコの原因藻類を殺滅する作用が見出されています。水草を利用する環境に配慮したアオコ対策を目指し細菌が生産する活性物質に注目した研究を行っています。

チーム代表 加藤健
チーム員 内野聖子・澤田祐二

10 北教大 チーム 海浜植生調査グループ

道南地域の海浜植生 都市化の影響を受けるのはどんな植物か？

道南地域の海岸は、人々に様々な用途で利用されている。しかし、生育する海浜植物について具体的な保全は行われていない。私達は道南地域にどのような植物が生育するのか、場所による成帯構造の違いを調べ、それを目的とした調査を行い、その違いを引き起こす周辺の環境条件の検討を試みた。

チーム代表 木戸博哉
チーム員 西田悠介

11 北大水 チーム きしめん食べたい(名古屋出身ではない)

紅藻の真価～北海道より

函館に生育する海藻の健康機能について紹介します。北海道には様々な海藻が生育していますが、その多くは利用されていません。中でも特に利用されていない紅藻というグループの遺伝子やタンパク質を調べたところ、様々な健康機能があると考えられました。一緒に海藻の健康機能について学びましょう。

チーム代表 岸本亮大
チーム員 無し

12 未来大 チーム 高度ICT演習 おさかな日和

北海道の魚介類の魅力を伝えるアプリ「おさかな日和」

私たちは、北海道庁と北海道ぎょれんのデータを使用し、北海道の魚介類と料理レシピが閲覧できるiPhoneアプリ「おさかな日和」を開発しています。現在、ゲーム要素を取り入れた、料理が楽しくなる機能を開発しています。アプリのデモ展示と活動内容を紹介しますので、ぜひ見に来てください！

チーム代表 山名風太
チーム員 相川健太・佐藤碧・松井大成・山崎陽聖・
越優希・松田頭・山崎颯太

13 企業団体 ハイソフテック 函館オフィス 株式会社ハイソフテック

事業紹介

茨城県ひたちなか市に本社を構え、ITソリューション、電気・機械装置の設計・開発、品質検査といった複数の事業を展開することを強みとしてお客様の課題解決に役立つサービス等を提供しています。これからも「信頼される高度なエンジニアリングサービス」を目指して挑戦を続けていきます。

14 企業団体 株式会社AIハヤブサ

AIで品質検査に イノベーションを起こす！

弊社は、人工知能(AI)技術を活用した先進的なAI検査装置メーカーを目指すベンチャー企業です。弊社の検査システムは、従来の画像処理や目視検査などの課題をAIで克服し、高精度・高速・検査効率向上・自動化・人手不足解消に貢献いたします。

15 北大水 チーム
化学工学・低ヨウ素コンブ開発チーム

日本人2000万人を救う!
低ヨウ素コンブ加工食品の開発

コンブに豊富なヨウ素はヒトの必須栄養素ですが、両刃の剣でもあって、日本では摂取過剰による甲状腺障害者が約二千万人いると推定されています。そこで、コンブの調理過程でヨウ素を吸着除去することにより、みんなが安心して食べられる低ヨウ素コンブ食品の開発に取り組んでいます。

チーム代表 高橋健吾
チーム員 喜多社大



16 大谷短 チーム
中川研究室

保育士養成校における
キャリア支援の在り方の検討

この研究では、保育士志望者に就職についてのアンケート調査を行い、保育士養成大学における就職支援の在り方を検討し、隠れ保育士、早期離職者の軽減しより良い保育環境を実現を目指します。

チーム代表 長田萌花
チーム員 野呂小雪

17 未来大 チーム
高度ICT演習 はこだてMap+

函館のまちあるきを支援するアプリ
「はこだてMap+」の開発

私たちはLODという仕組みを利用して地域情報の公開を促進し、地域活性化に貢献することを目的として活動しています。今年は函館市の地域情報を利用した、函館のまちあるきを支援する観光アプリ「はこだてMap+」の改善を行ないます。アプリのデモを行っているので、ぜひお越しください!

チーム代表 上杉明日香
チーム員 中進吾・斉藤由樹・立花虎太郎・高橋憲司・芥川裕大・荒木亮介・佐々木輝義

18 函高专 チーム
藓苔類学部

藓苔類学部活動

藓苔類ってご存知ですか?皆さんの足元に潜む緑のアレは、強い生命力で生態系を支える縁の下の力持ち。そんなコケの魅力に取り憑かれた(!?)函館高专の学生が集まって、愛好会「藓苔類学部」が今年誕生しました!藓苔類学部員がイッツ・ア・コケワールドをご紹介します!

チーム代表 安田啓真
チーム員 安齋潤一郎・川村綺斗・来栖実優・田代周平・西川数馬・日向利文・小鹿彩貴・堀川純帆・満保天星

19 企業団体 日新電子工業株式会社

函館より、安心・安全に貢献します

弊社は、食品・医療・工業・被服・官庁等々の分野において、金属検出機・X線を中心とした各種検査機により社会とお客様の安心・安全を守る企業です。函館工場よりX線・光学方式の画像検査装置の拡販と欧州への展開を目指しています。

<http://www.nissin-elc.co.jp/>

20 企業団体 ハコレコドットコム株式会社

Hakodate × IT → world

IT/Webというアプローチで、函館の課題を解決すると共に、Webビジネス自体を新たな函館の主要産業として確立し、地域の持続的な成長に貢献したいと考えております。当日は主に、シビックテック事業についてやフロントエンドエンジニアという職種についての説明をします。

21 CCH チーム Academic Portal
HAKODATE編集部

函館の魅力発信中!

Academic Portal HAKODATE編集部(APH)では、中高生に向けた函館進学意欲を高める他、学生の交流・活動の発信の場になるようWebメディアとして活動しています。ブースでは、私たちの活動についてちょっとでも知ってもらえたら嬉しいです。

22 北教大 チーム
スズメの盗蜜、語り隊!

スズメの盗蜜の定量化:盗蜜は五稜郭公園の花見観光に影響するのか?

本来、サクラと鳥は共存関係にあります。サクラは鳥に蜜を提供し、鳥はサクラの蜜を吸う際に花粉を運ぶからです。しかしスズメはサクラの花の蜜だけを盗み、さらに迷惑なことに花を落とします。スズメの盗蜜は、五稜郭公園の花見観光にどれほどの影響を与えているか?またその対策は?

チーム代表 松井うみ
チーム員 藤岡健人

23 函短大 チーム
赤ビグミンと私たち

保育者の離職理由にみる
人間関係の大変さ

私たちは保育者の離職率について興味を持ちました。調べた中から人間関係の問題で離職に繋がっている事が多いとわかりました。人間関係の中でも保育者同士のトラブルや保育者と保護者の問題などがあることを具体的に知ることで、これから保育者として働いていく上での心構えを養うことができました。

チーム代表 小杉朋花
チーム員 好野実希子

24 北教大 チーム
「函館TOM」応援プロジェクト

「まちたんけん」を支えるサポート情報

3・4年生の社会科教材や総合的な学習の時間などでは、函館・道南のまちの様子や北海道の特色を学びます。私たちは身近な道具を使って、まちの魅力と課題を、よく感じよく考えるための教材づくりに取り組んでいます。

チーム代表 若林千裕
チーム員 橋本智仁・菅野莉玖・木下千暖・野原楓・岩崎洋渡



25 函高专 チーム
ゲームプログラミング研究会

自主製作コンピュータゲームの展示

コンクールに応募した作品をはじめ、改良を重ねた研究会の自信作を展示します。誰でも遊んで楽しめる一押しオリジナルゲームを集めました。今もてる力を最大限発揮して製作しましたので、是非ブースにお越しください。

チーム代表 佐藤 拓実 (4年生産)
チーム員 大根田みらの (3年生産)・瀧川陸 (2年生産)・江川冬樹 (1年)

26 北大水 チーム
反応工学チーム~EPA・DHAへの逆襲~

イカゴロからディーゼル燃料を作る!

イカゴロ等の水産廃棄物には脂質が多く含まれています。これらの脂質は健康促進作用のあるEPAやDHAが含まれていますがそれと比較して相対的に利用価値の低い脂質も含まれています。私たちはこの利用価値の低い脂質をホタテ貝殻由来の触媒を用いることでディーゼル燃料へ変換する研究を行っています。

チーム代表 黒崎優一
チーム員 古川曉飛

27 未来大 チーム
BEACON FUN

ビーコンIoTで函館のまちをハックする

数センチメートルから数十メートルの範囲にBluetooth電波を発信できるビーコンとスマートフォンを連動させることで、GPSよりも柔軟で高精度な位置情報連携サービスを実現できます。15名のプロジェクトメンバーで考案した256のアイデアから厳選された、函館のまちを舞台とするユニークな新体験アプリを紹介します。

チーム代表 中田裕貴
チーム員 大山義人・林友佳・篠田大地・佐藤綾香・松浦巧・大橋一真・北條実・伊勢田蓮・高松耕太・山口賢登・佐藤登威・森雄斗・前野匠星

28 北大水 チーム
化学工学・飼料開発チーム

廃棄物から魚のエサを

私たちはイカやホタテの廃棄物に含まれる重金属を除去し、魚のエサに変えるための技術を研究しています。魚のエサ不足は世界的な問題であり、解決しなければならない問題です。この問題を解決するために、私たちが研究している内容を紹介します。

チーム代表 篠原翔伍
チーム員 喜多社大

29 大谷短 チーム
伊藤研究室

本学のウェブアクセシビリティ
検証結果

本学の公式ウェブサイト全ページのアクセシビリティの検証を行った。その検証結果の報告と改善案を提示する。

チーム代表 池田奈々
チーム員 佐々木京子・五十嵐大輔・表杏奈・菅原航太・深谷和弘・藤原佳保・澤田侑希

30 北教大 チーム
国際協力実習研究チーム

対カンボジア支援の現状と将来展望

この研究では、1970年頃から約30年にわたり続いた内戦の負の遺産を今も抱えるカンボジアの現状と開発課題、並びに現在行われている多様な機関による国際協力や民間機関の活動の現状と課題を実地に調査し、今後の対カンボジア支援の目指すべき方向性について検討を行っています。

チーム代表 福浜早希子
チーム員 成田沙彩・長津裕香・須田美緒

31 函短大 チーム 函短保育学科

保育・教育実習で 子どもたちが教えてくれたこと

私たちは保育・教育実習を通して、座学で学んだことを生かし、実践的な力を得ることができました。それを「わかる(説明・観察・見学)」、「できる(活動・経験・準備・調査・研究)」に分けて考え、今までの学びを整理しました。

チーム代表 斎藤あゆみ
チーム員 鈴木杏奈・矢島愛理・小杉朋花



32 北教大 チーム 石井ゼミ

函mathプロジェクト

渡島管内の児童は、全国学力・学習状況調査の結果から、日常事象における数学的な見方、考え方に関する問題が苦手であることがわかっています。そこで、児童にとって身近で楽しい函館地域に関する算数問題の作成に取り組み、児童の学力向上を図るとともに、地域への愛着をもたせることを考えています。

チーム代表 遠藤史崇
チーム員 藤澤美穂紀・目黒幸永・山邊瑞穂・峯田盛史

33 函高専 チーム 函館高専 鈴木研究室

ROSを用いたドローンシステムの試作

本研究では、ドローンの自律飛行の実験システムを試作する。開発環境としてドローン用パッケージが用意されているROS(Robot Operating System)を使用し、本体はParrot社製のAR.Drone2.0を使用し、シミュレーションを経て実機検証を行う。

チーム代表 秋田谷たすく
チーム員 無し

34 未来大 チーム 使ってもらって学ぶフィールド指向システムデザイン2018

石別の手描きマップを用いた アプリケーションの開発

私たちのヒームは、北斗市石別地区の魅力を伝えることを目的として活動しています。そのために、住民の方々と協力して、元石別住民の方が描いた手描きマップを用いた観光アプリを開発しています。ブースでは、開発中のアプリの概要説明を行いますので、ぜひお越しください。

チーム代表 武信雄平
チーム員 岡田将太郎・財部圭太・高橋莉奈・沼田夏竜・板谷愛美

35 北大水 チーム 生物有機化学研究室

環境にやさしい赤潮対策 ~細菌による赤潮防除~

赤潮は、有害微細藻類(プランクトン)の異常増殖により海水が着色する現象であり、主に漁業被害が甚大である。近年、赤潮の原因藻類を殺滅する細菌が確認されており、赤潮の発生・収束への関与が示唆されている。今回はこれらの細菌の殺滅機構と殺滅物質についての研究を紹介する。

チーム代表 神田衛
チーム員 野口祐輔・邊見龍樹・宮脇ふく子

36 北教大 チーム きむらレンジャー2018

ジェンダーに関する教育が浸透していくための教員を取り巻く現状と課題

日本は男女格差を測る指数「ジェンダー・ギャップ指数」が他国に比べて低い。それは学校教育が、時に男女の偏りを強く固定してしまう認識を生みだしているからではないか。そこで本研究では、学校の中に着目して隠れたカリキュラムを探しながら、今日の課題を明らかにする。

チーム代表 櫻庭莉那
チーム員 附田真帆・長坂芽以子・三上真穂・水口史菜・亀田春花・北山澄佳・香西優恵・竹田康輝・布施蓮也・前川珠代

37 未来大 チーム ミライケータイプロジェクト[re:]

ミライ的なサービス企画とプロダクト開発

私たちは数年後に日常的に利用されているであろうサービスの提案し、そのサービスを実現するためのプロダクトの開発を行っています。現在は3つのサービスを企画し、開発を進めています。企画概要の説明やアプリのデモを行いますので、ぜひお越しください。

チーム代表 宮前冠汰
チーム員 青地美桜・赤間悠大・大村優輝・白幡祐叶・田尻宗準・戸澤涼・田尻宗準・若林勇汰

38 北大水 チーム 小林半端無いて!

絶対に捨てられない海藻がここにある

ダルスという海藻を知っていますか?ダルスは函館沿岸に豊富に存在する海藻で、その多くは未利用のまま廃棄されています。私はこのダルスに含まれる多糖に注目し、その糖から善玉菌を増やすオリゴ糖の生成に成功しました。今回はダルスからとれるオリゴ糖の特徴とその可能性について紹介します。

チーム代表 小林真奈美
チーム員 山本陽平

39 北教大 チーム 函館山コジマエンレイソウ研究グループ

函館山に生育する絶滅危惧植物 コジマエンレイソウの生育環境に関する研究

函館山に生育する絶滅危惧植物コジマエンレイソウの生育適地を明らかにすることを目的に、2018年4月と8月に植生調査及び生育環境の調査を行った。その結果、コジマエンレイソウの生育環境は土壌水分、光環境ともに幅広く、スギ林床、落葉樹林床まで幅広く出現することが明らかになった。

チーム代表 佐藤千紜
チーム員 依田あかね

40 企業団体 GCサポート函館 一般財団法人北海道国際交流センター

海外留学、海外ボランティア

2013年より、海外渡航専門の窓口「GCサポート函館」を開設しています。語学留学、ボランティア、インターンシップ、ワーキングホリデーなど、行きたい期間や目標によって、様々なプログラムがあります。海外に興味のある方は、お気軽にどうぞ。あなたに合ったプログラムをご提案します。

41 企業団体 公益財団法人北海道学術振興財団

南北海道地域の学術研究と科学技術のために

当財団は「南北海道地域における学術研究の振興を図り、もって科学技術の進展を担う人材の育成並びに地域の学術、教育、文化及び産業の発展に寄与すること」を目的に、大学教員等の研究や海外学会での発表、大学生・大学院生の留学に対して、助成をしています。

42 大谷短 チーム 細川研究室

援助行動モデリングが 第三者の援助態度・行動に及ぼす影響

援助行動とは外的な報酬を期待することなしに、他人を助けたら手助けしようとする行動であり、個人内や環境の影響を受けることが知られている。本研究では、援助場面のモデリングを加え、態度や行動にどのような影響するか検討を行う。場面の予備調査を行い、それを元に本調査を行う予定である。

チーム代表 藤田里美
チーム員 小玉有美香・齋藤典也・齋藤友香理・澤田紗稀・高松美帆・平松瑞梨香・藤田有紗・堀井有紗・山崎真生

43 北大水 チーム 清水研

魚の成長指標

養殖業において魚の状態を知ることは大切です。エサや飼育温度は本当にそれであって?魚は人間と違って教えてはくれませんが、では魚の状態はどうやって調べればいいのか。私達は魚の状態の指標としてIGFBPというタンパク質に注目し、魚の成長について研究しています。

チーム代表 長谷川竜也
チーム員 阿部航平・三浦拓人・及川仁・中岡耀介



44 函短大 チーム もぐもぐ調査隊

乳酸菌飲料を毎日飲むとどうなるの? 継続は力なり~栄養士の卵産の2ヶ月間~

みなさんは栄養士について知っていますか?栄養士は給食管理だけではなく栄養指導も行います。私たちは、将来、現場へ出た時に自分たちが実際に体験したことをお話できるように得た知識の実践を日々心がけています。今回は、その取り組みの1つである乳酸菌飲料の継続による効果について発表します。

チーム代表 田中小雪
チーム員 品川結衣花・及川美穂

45 大谷短 チーム 鄭研究室

函館地域ブランドの実態調査 -地域ブランドの想起と連想のギャップを中心に-

地域創生の基盤となる「函館地域ブランド」を地域ブランドの「想起」と「連想」という要素を中心に実態調査を行い、函館内部で発信したいと思っている函館地域ブランドと外部の人々が感じ取っている函館地域ブランドのギャップを明らかにし、今後の地域創生の方向を提示する。

チーム代表 山本詩乃
チーム員 無し

46 企業団体 株式会社エスイーシー

IoT/AIの活用

IT(InformationTechnology)を用いて、酪農/畜産に於ける牛の発情サインを、IoT(InternetofThings)によりインターネット経由で収集したセンサ情報を基にAI(ArtificialIntelligence)を用いて、発情兆候検知を行う。

47 企業団体 タイムカプセル
タイムカプセルR&D合同会社

スポーツ×ITで地域活性化

タイムカプセルのミッションは「スポーツ×ITで地域活性化」。地元のスポートチームが元気になれば、その地域も元気になる！を合言葉に高度なIT技術を駆使したチーム活動のサポートや、プロ野球12球団&侍ジャパン公式アプリ、サッカー日本チーム公式アプリなどの開発運用を担当しています。

チーム代表 藤井勇樹
チーム員 無し

50 北大水 チーム
ヘルシエイク・ダルス

ダルスは”第2のガゴメ”となりうるか

寒冷な海域に自生する紅い海藻ダルス。海外では食用として広く親しまれていますが、函館においては昆布養殖棚厄介者としてその多くは駆除・廃棄されています。そんなダルスの有効活用法や健康機能を中心として我々の研究をベースにお伝えします。

52 特別参加 チーム青森中央学院大学
森田ゼミ

来訪者のニーズを踏まえた道の駅における地元産品の開発・販売戦略の検討

加工食品品質表示基準改正により、地元産か否かを見分けることができるようになってきている。多くの道の駅では、地元産の農林水産物・食品を販売しているが、産地明確化の流れの中で、道の駅はどのような地元産品をどのように販売していくべきか検討をおこなった。

チーム代表 齋藤賢伍
チーム員 稲葉裕紀・上道侑希・逢坂優樹・桶谷玲奈・工藤帆華・櫻田結有・寺沢康佑・森内力也・NGUYEN QUOC ANH

55 未来大 チーム
keilab

車を用いて観光する人に向けた観光ルート推薦アプリの開発

車を使って観光するときには、行きたいスポットに駐車場があるかを調べたり、複数ある駐車場からどこに駐車するかを決める手間がある。そこで、行きたいスポットを選択するだけで駐車場も含めて観光ルートを推薦するアプリを開発している。

チーム代表 山川拓也
チーム員 無し

57 北教大 チーム
函教 こじゼミ4期生

エエものあるぞ江差町

突然ですが、質問です。あなたの家の一番近くにある公衆電話って、すぐに思い浮かびますか？身近にあるものほど、当たり前すぎて見えなくなっていくもの。だからこそ、私達は「今あるもの」に焦点をあてました。エエ町・江差の「エエところ」を活かす政策を提案します。

チーム代表 福澤透真
チーム員 中村愛・金子きなり・幸野谷直輝・藤本美来・金澤美玲

60 特別参加 チーム
道愛女子中学高校地学部

大森浜の海岸浸食と砂の堆積
2006-2018 イカ看板は再び出現したのか

砂浜が消える！2006年から私たちのクラブでは砂浜の測量をして変化を調べてきました。海岸浸食の現状と原因について紹介します。

チーム代表 小笠原未歩
チーム員 扇柳佳苗・竹村妃菜・西山澄・中嶋果南・荒木美音・瀬野亜依・阿部千晶・小松崎愛・米澤奈々珈・奥山摩耶

48 北大水 チーム
化学工学イカゴロチーム

体に良い脂質、燃料にできる脂質
イカの肝臓を完全利用！

水産廃棄物のイカ肝臓の脂質はDHAやEPAなどの有用な成分とその他のあまり利用されない成分を含んでいます。そこで私たちは尿素包摂によりイカ肝臓から有用な成分を取り出す研究をしています。またあまり利用されない成分についてはディーゼル燃料に変えて有効利用しようと考えています。

チーム代表 福地漢杜
チーム員 行成喬史

51 極東大 チーム
ピロシキ八幡坂

オリジナルピロシキが出来るまで

みなさんは本当のピロシキをご存知ですか？普段目にするピロシキは、本場ロシアのものは違っています。そこで私たちはキングベークさんの協力の下、新しいピロシキを制作することにしました。みなさんのご意見もお聞きしたいので是非お越しください！

チーム代表 小池凜
チーム員 齋藤航・相川将太・平原響・竹内のぞみ・和田将英・永谷璃乃・竹内志織・小池愛輝・山本陽之・安井燎大・中谷嶺・中藪東

53 函高专 チーム
BridgeLab

木製折り畳み式橋梁の展開機構と
模型試作

災害復旧用の応急橋を2分の1スケールで製作した。この橋梁は折り畳んで現地へ運搬し、わずかな時間で展開して完成させることができる。折り畳むと厚さが僅か380mmのコンパクトサイズとなる。架設には大型重機や特殊機械を必要としない。災害地での人命救助や物資輸送に貢献する。

チーム代表 佐藤史織
チーム員 無し



58 函館大 チーム
チーム夜歩き湯の川

函館の観光、冬の賑わいを
夜歩きで増やす！

函館の観光客が冬間に落ち込むという課題を解決するために、現在注目されているナイト・タイム・エコノミーを利用したイベント等を私たちは提案します。具体的には、湯川地区での夜間に開催するバルや、体験型イベントを実施し、函館の観光の活性化を検討します。

チーム代表 宮崎浩司
チーム員 天野沙雪・小鹿大介・笹原侃・鷹松侑佑・竹林雅菜・種市ありさ・寺田有吾・山田真菜

61 特別参加 チーム
道愛女子中学高校地学部

夜空の明るさ比べ
「ひかりのまち・函館」VS松前町原口

今年の8月「私たちは松前町でベルセウス流星群の観測をしました。「ひかりのまち・函館」とどのくらい見える星がちがうのか、比較します。

チーム代表 小笠原未歩
チーム員 扇柳佳苗・竹村妃菜・西山澄・中嶋果南・荒木美音・瀬野亜依・阿部千晶・小松崎愛・米澤奈々珈

49 北教大 チーム
孤立林植生調査グループ

函館市の孤立林に生育する林床植物の
種多様性とその保全に関する研究

函館市は豊かな自然と共生するまちづくりを基本目標の一つとして掲げている。しかし、市の周辺部では、都市化が進んだ結果、森林の孤立・分断化が起こっている。本研究は、孤立林と大きな緑地を比べ、微地形区分やその他の環境要因に焦点を当て、種組成の変化を明らかにすることを目的とした。

チーム代表 斎藤峻太郎
チーム員 川浪香怜



54 北大水 チーム
凝集ろ過チーム

やったるか！環境にやさしい凝集剤で
みるみるろ過！

私たちが発明した「環境に安全な生分解性凝集剤」を使った泥濁水の浄化技術の開発研究を紹介します。凝集剤とは、1/100ミリ程度の小さな泥粒子に付着し、数ミリの集合体を形成させる薬剤です。泥濁水をろ過処理する前に凝集処理を行うと、ろ過による浄化処理の効率が格段にアップするのです。

チーム代表 天下和馬
チーム員 小口俊晴

56 特別参加 チーム
東京理科大学長万部キャンパス

ホタテ貝殻のSr除去機構に関する
基礎研究

東京理科大学長万部キャンパスは基礎工学部の1年生が1年間、全寮制のもとで勉強に動きます。本発表では福島原発の汚染水問題と東日本が抱える大量のホタテ貝殻の処理問題に着目し、それらの同時解決を目的とし研究を行った結果を発表します。

チーム代表 手跡雄太
チーム員 森田莉加・吉田歩乃佳・矢澤理那・小野可南子・鈴木祐成

59 特別参加 チーム
函館中高校地学部

ペットボトルロケット

水ペットボトルロケットを作成し、先端の形状・水の量などの条件を変えて飛距離を測定し、「よく飛ぶ条件」について実験・考察を行った。

チーム代表 林連太郎
チーム員 佐々木日菜理・菅原月美・赤坂友希

62 特別参加 チーム
函館大学付属柏稜高等学校 理科研究部

北海道南部産ダルスの成分分析 —2018年冬期におけるフィコピリン色素量の経月変化について—

柏稜高校理科研究部は、ターゲットとなる成分の蛍光や発色強度を利用して定量するオリジナル法「Hakuryo method」を用いた研究を行っている。今年度は、道南産「ダルス」に含まれる健康機能性成分「フィコピリンタンパク質」の定量を本校実験室で実現させ、冬期の経月変化を明らかにした。

チーム代表 中村達也
チーム員 中村一哲

イベント終了後も別会場にて展示・発表を行います

アカデミックリンク2018のポストイベントとして、下記日程・会場にて発表の場を設けております。
見学できなかったブース等ございましたら、ぜひお越しください。

合同研究発表会 シエスタハコダテ編

～HAKODATEアカデミックリンク2018連携～

アイデアと街を繋ぎ 函館の未来を創る

@シエスタハコダテ 函館市本町24-1

キャンパス・コンソーシアム函館が主催する、はこだて高等教育機関合同研究発表会『HAKODATEアカデミックリンク2018』で発表された研究内容を、函館の街と繋ぎ、カタチにすることを目的として開催されます。

学生が研究内容とプレゼンテーションする「ステージセッション」と、広く市民に知ってもらうため研究内容を展示する「ポスターセッション」の2つで構成されます。

ステージセッション

2018.11.23.fri 13:30-16:00

@シエスタハコダテ 3F OpenMUJISペース

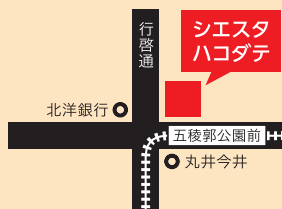
前半は、アカデミックリンク2018のステージセッションで発表された研究成果を、もう一度発表してもらいます。
後半は、発表者と参加者が一緒になって、内容を深めるための意見交換をワールドカフェ形式で行っていきます。

ポスターセッション

2018.11.12.mon-11.28.wed

@シエスタハコダテ 1～4F 階段スペース

シエスタハコダテの階段スペースを使って、アカデミックリンク2018のブースセッションで使用されたポスターを展示します。
アカデミックリンク2018の会場に来られなかった方、会場で見学できなかった方は、ぜひお越しください。



主催:丸善雄松堂株式会社 / 共催:キャンパス・コンソーシアム函館 / 企画協力:株式会社良品計画

アカデミックリンク2018 成果展示会

@イトーヨーカドー函館店

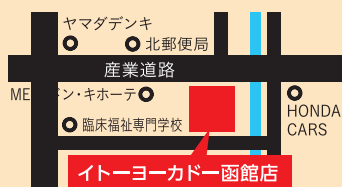
函館市美原1-3-1

アカデミックリンク2018のブースセッションで評価の高かった発表をはじめ、実際に使用されたポスターをイトーヨーカドー函館店にて展示します。アカデミックリンク2018に来られなかった方はもちろん、来られた方も新しい発見があるかも知れませんので、ぜひイトーヨーカドー函館店にお越しください。

前半 2018.11.30.fri^{※1}-12.13.thu

後半 2018.12.14.fri^{※1}-12.27.thu

※1 展示作業終了後からご覧になることができます。



展示内容

アカデミックリンク2018 ブースセッション出展ポスター

全期間 / 大賞・優秀賞 受賞ポスター

前半 / ブース番号 1～30

後半 / ブース番号 31～62

※ CCH・特別参加・企業団体のブースは除きます。

会場へのアクセス

会場 函館アリーナ

函館市湯川町1丁目32番2号

市電をご利用の場合

「函館アリーナ前」下車徒歩3分

バスをご利用の場合

「函館アリーナ前」下車徒歩3分

自家用車をご利用の場合

会場には駐車場（2時間を超えると有料）がございますが、スペースに限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。路上および近隣店舗等の駐車場への駐車は、迷惑になりますので、おやめください。



スタンプラリー実施中!
5つ以上スタンプを
集めると記念品進呈!

ブースを訪ねてスタンプGET!

多彩な研究テーマが揃った62の展示ブース。興味のあることやわからないことがあったら、どんどん質問をぶつけてみましょう。展示を見て、興味深かった、面白かったと思うブースがあったら、スタンプを押してもらってください。5つ以上のブースを回りスタンプを集めたら、受付で記念品を差し上げます。

受付にてお渡しするアンケート用紙にスタンプを押してもらってね!

アカデミックリンクの開催にあたり
各企業の皆様からご協賛を賜りました。
ありがとうございました。

株式会社東和電機製作所・株式会社函館新聞・
五稜郭タワー株式会社・株式会社シンプルウエイ・
株式会社いちたかガスワン・株式会社北海道新聞社函館支社・
株式会社日本旅行北海道函館支店・株式会社五島軒・
函館山ロープウェイ株式会社FMいるか・有限会社三和印刷
(敬称略・順不同)

出展ブース、ステージの審査にあたっては、
次の企業・団体などの皆様にご協力賜ります。
ありがとうございます。

産学連携「クリエイティブネットワーク」・市立函館高校・
北海道渡島総合振興局・株式会社道南ラルズ・株式会社北洋銀行
特定非営利活動法人 函館市青年サークル協議会・
(函館コミュニティプラザ Gスクエア)
北海道退職校長会函館支部・北海道中小企業家同友会函館支部・
北海道教育庁渡島教育局・函館市経済部

主 催 : キャンパス・コンソーシアム函館
加盟団体 : 公立はこだて未来大学 / 函館大谷短期大学 /
函館工業高等専門学校 / 函館大学 / 函館短期大学 /
北海道教育大学函館校 /
北海道大学大学院水産科学研究院・水産学部 /
ロシア極東連邦総合大学函館校 / 函館商工会議所 /
函館市
後 援 : 北海道教育庁渡島教育局

お問い合わせ

キャンパス・コンソーシアム函館 事務局

〒040-8567 函館市八幡町1-2 北海道教育大学函館校内
TEL. 0138-44-4211 FAX. 0138-44-4333
MAIL. info@cc-hakodate.jp

CCH キャンパス・コンソーシアム函館
公式サイトは
QRコードからアクセス
<https://www.cc-hakodate.jp/>

